

20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 130 1 2 3 4 5

右田道灌雄飛録 五

1289
才

か 本 安見料
 高橋傳吾
 別見料ト云々
 望内以与万一本来ハリ
 あり代金申受云又貸
 高書流喰并給失ホ



太田道灌雄飛録卷之五

目録

- 一 景春同意の者蜂起 附 道灌所の城を攻落す
- 一 豊嶋重員武州方へ属し 附 道灌武州浅茅が軍の
- 一 道灌武州に古田軍附り 敵兵敗軍の
- 一 景春上杉勢と武州用土原軍附り 道灌謀を破る
- 一 長尾重忠武州所方へ降参の
- 一 上杉重忠武州對陣附り 成氏上杉と和平の

太田道灌雄飛録卷之五目録

- 一 道灌武州小机軍附リ景春敗軍のり
- 一 道灌相州奥三保軍附リ海老名本間討死のり
- 一 道灌東武巡見老小日向金刺寺市谷八幡宮のり

附リ山吹の里のり

太田道灌雄飛録卷之五

東都 木村梅年志貞編輯

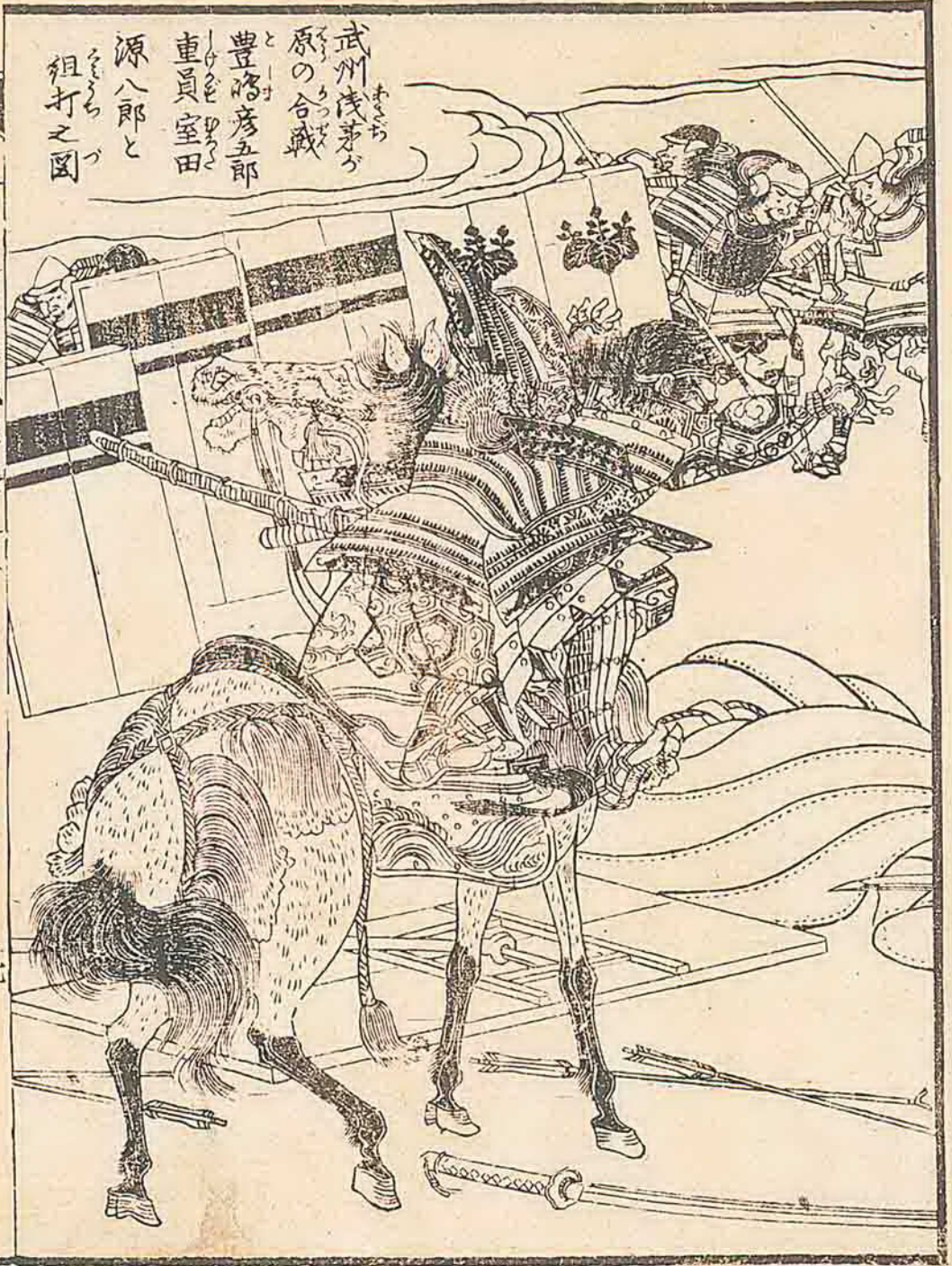
○景春同意の者蜂起附王道灌討の城を攻落す事

けりやぶるも尾末ちの一味の輩を小峰起しとて敢てと先武藏國
 豊嶋郡の徑人を嶋島解由左衛門尉同身平右衛門尉の同族石神井諒馬
 の誠をよき住士と川越の通達と數百の勢と百餘騎を拵り。相州の
 系も御官の者清原の誠を倚り要害に多く。戦後のみちを平小波乃
 小波乃を掃却助小波乃の誠を其集めて。武蔵相模又一の誠を
 ありあたるを回入道道灌此由を聞て。兼てありひし半さるる。由
 氣色も形く。扇谷谷中遣りて軍勢を招き千代田を狭きと成り強し。
 寔田源公。齊藤加賀守と先陣とて清原の誠小波乃の誠を討つ。

屋へて推しこみは為公付れんが防くべき候もあつ降とて同十八日に出敵
 と對面と遂に要塞破却せんとすとも内へは敵軍と密に
 異心を懐くを聞くと同月廿三日に攻め入りて其時其處は左衛門重廣の
 後度の付とて彼軍の所をよもも落度せしむ

○景泰二年秋、武州用土原軍所より道邊深草を破る事

扱又金吾掃部助の將王なる小澤の城へ先日押えの勢ありて是より此
 勢かひ小攻落せし。同月廿三日に夜を中夜に小沢の城へ向ひたる金子
 掃部助忠也も、其勢より具一城中より出で出まるといふ。其田が録
 出く。一ちうさといひ退く。然るといふも道邊の城に攻め入りて今
 一城より信りたるも、稲麻竹草とあつたる巻も、其城の堅固なれば
 其とて今までの接けの事もあつ。稲麻ともあつたるも、其城の堅固なれば



武州浅茅の合戦
 豊後彦五郎
 重員室田
 源八郎と
 組打之図

ちりりせし。

○西上杉。景春と北武藏對陣。所り成氏上杉と和卒の事。

かくてあし杉の世舉手は抜くべき事と付たんと。上野武藏の勢を借
き田道清と深念の圓り。殘して。北武藏の富田四方田をみす出陣
陣を多ふ。あし杉のいかに。成氏へ加勢の事。上杉と早く。下
中総の千五百人を。後と。同年七月下旬。成氏より。結城守少輔。那
須修理。大ま。資房を先陣と。横濱。深田。佐。本。多。を。始り。して。下。総。下
野の軍士。都。く。み。め。の。後。藤。遊。と。り。入。り。あ。ま。で。あ。し。杉。を。さ。し。め。り。長
尾。左。衛。門。藤。原。兄。の。志。を。救。へ。んと。戦。後。の。関。と。り。二。千。餘。を。率。し。て。あ。し。杉。と
謀。り。合。せ。荒。巻。と。り。入。り。あ。ま。で。あ。し。杉。を。さ。し。め。り。あ。し。杉。は。さ。し。め。り。あ。し。杉。
と。め。り。あ。し。杉。の。大。軍。を。さ。し。め。り。あ。し。杉。は。さ。し。め。り。あ。し。杉。は。さ。し。め。り。あ。し。杉。

當所とらりせし。上列白井へあつてかきよて大勢を催し。合戦おあよん。陣拂

して白井へぞり。越の沖所へ上杉と和せぬ。あし杉の内に。あし杉。と。軍。戦

あし杉の。あし杉。へ。陣。せ。り。あ。し。杉。の。事。も。勝。つ。て。明。色。を。大。明。十。年。己。亥

正月。成氏より。後。中。務。少。輔。を。の。り。て。上。杉。へ。使。り。て。後。の。報。の。事。を。あ。し。杉。

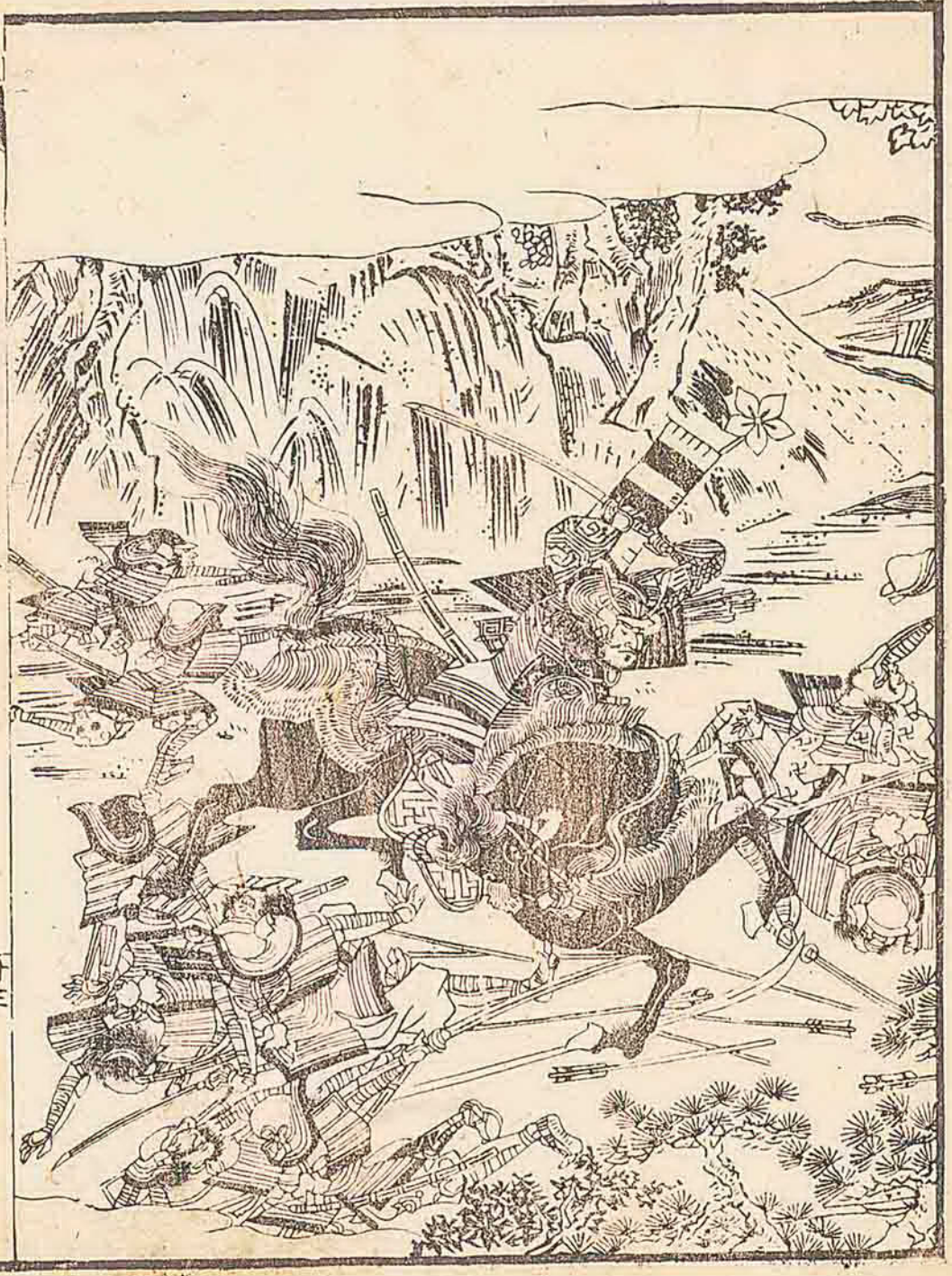
乃。関。戦。を。止。め。り。而。相。傳。へ。る。の。事。あり。上。杉。も。如。何。せ。んと。先。道。清。を。招

き。異。見。を。向。り。せ。り。あ。し。杉。道。清。は。あ。し。杉。の。復。讐。の。事。を。あ。し。杉。に。あ。し。杉。
信。よ。り。陣。夜。も。あ。し。杉。の。事。を。あ。し。杉。に。あ。し。杉。の。事。を。あ。し。杉。に。あ。し。杉。
あ。し。杉。は。あ。し。杉。と。願。ふ。事。あり。あ。し。杉。の。事。も。尾。尾。張。守。忠。義。の。事。を。あ。し。杉。
し。の。事。も。あ。し。杉。の。事。も。あ。し。杉。の。事。も。あ。し。杉。の。事。も。あ。し。杉。の。事。も。あ。し。杉。
あ。し。杉。の。事。も。あ。し。杉。の。事。も。あ。し。杉。の。事。も。あ。し。杉。の。事。も。あ。し。杉。の。事。も。あ。し。杉。
あ。し。杉。の。事。も。あ。し。杉。の。事。も。あ。し。杉。の。事。も。あ。し。杉。の。事。も。あ。し。杉。の。事。も。あ。し。杉。



太田道灌おくだのちかぬの未弔
 同ついで國書助すけのすけ資忠
 吉田三郎よしたのさぶら之盛のさかと
 勇ゆう殘ぜんの國くに

太田道灌の未弔
 同國書助資忠
 吉田三郎之盛と
 勇殘の國



太田道灌の未弔
 同國書助資忠
 吉田三郎之盛と
 勇殘の國

